

# 志木二中だより

令和3年度8・9月号

令和3年8月30日(月)

～気持ち良い あいさつ溢れる 志木二中～

志木市立志木第二中学校

## 2 学 期 を 迎 え て

校長 本 庄 真

夏休みが終わり2学期となりました。昨年の夏休みが休校の関係で18日間だったこともあり、今年の39日間は長く感じられました。志木二中学生がそれぞれどんな夏休みを過ごしたのか気になるところです。

前半は、東京オリンピックをテレビで観戦したという人が多かったのではないのでしょうか。日本史上最多のメダル獲得で盛り上がりました。私は、連日の日本人アスリートの活躍からたくさんの感動をもらいました。その反面、メダル確実と下馬評の高かった選手が、本来の力を発揮できずに敗れ去る姿に、胸を痛めたりもしました。



現在、パラリンピックが開催されています。多様性を認め合う共生社会の実現に向け、良い機会になればと願っております。引き続きアスリートのがんばりを応援したいと思います。

そんな中、ワクチン接種は進んでいますが、新型コロナウイルス感染者数は減少するどころか飛躍的に増加してしまっています。以前は県から感染者情報のメールが毎日入り、志木市は多くても5、6人で2ケタになることはありませんでした。その居住地が入った1段3人ずつの表になっていたメールが、人数が増えたことからか8月に入ってからはなくなり、市町村ごとの人数だけになりました。最近では市内で40人を超える日もありこれまでにない局面を迎えています。学校、家庭、地域で感染拡大への危機感を共有し、今まで以上に感染症対策を図る必要があります。

- 朝の検温を徹底し、少しでも発熱している、体調が良くない場合は自宅で休養してください。同居家族に同様の症状が見られる場合も出席を控えてください。登校後に具合が悪くなった場合も速やかに申し出てください。
- こまめな手洗いの徹底を図るとともに、マスクを鼻と口を覆うように正しく着用してください。
- 今まで以上に3密（密集・密接・密閉）を回避するよう努めてください。給食前後の教室の換気や、食事後のマスク着用なども徹底しましょう。

学校といたしましても警戒度を高め教育活動を精選し、感染症対策の徹底を図ってまいります。また、これだけ感染者数が急速に増加すると、感染症に対する不安や恐怖心が高まり、その感情が差別や偏見を生み出す恐れがあります。興味本位ととられる詮索などもあってはなりません。健康で心穏やかに生活していくには各ご家庭でのご理解・ご協力が不可欠です。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。